

関電不動産西本町ビル



外観

「関電不動産西本町ビル」は、大阪メトロ四つ橋線と御堂筋線「本町駅」からすぐに立地する賃貸オフィスビル。利便性が高く、閑静なオフィスエリアにあって、ランドマーク的なビルとなっている。



基準階トイレ入口

トイレの入口は、非接触で出入りできるようにドアレスの仕様。廊下からの視線を遮るため、トイレサインも兼用する袖壁を設置。通行を妨げず、効果的な仕様となるよう形状、大きさが検討された。

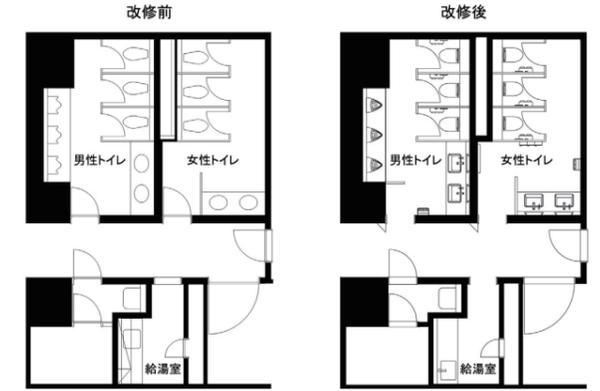


基準階 女性トイレ
洗面コーナー

自動水栓と自動水石けん供給栓、カウンターの下には電気温水器も設置され、非接触で快適にしっかり手洗いができる。洗面カウンターの横にポーチを掛けられるフックを設置している。

基準階トイレ図面

トイレの入口は、非接触で出入りできるようにドアレスに変更。廊下からの視線を遮るため、トイレサインも兼用する袖壁を設置している。



基準階 女性トイレ
洗面コーナー

洗面カウンターの背面には、私物を置いておけるダイヤル式の鍵付きタイプの小物入れを設置、利便性を向上させている。



基準階 女性トイレ
大便器ブース

大便器はコンパクトなサイズで連続洗浄が可能パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。リモコンは、乾電池や電気工事が不要なエコリモコンを採用している。



基準階 男性トイレ
全体

トイレをひと息つけるリフレッシュ空間と捉え、内装は、自然素材や木目調を用い、温かみのある落ち着いた空間を創出。男性・女性と色分けをせず同色としている。

水まわりの特長

改修の経緯

「関電不動産西本町ビル」は、大阪メトロ四つ橋線と御堂筋線「本町駅」からすぐのアクセスに優れた賃貸オフィスビル。利便性が高い閑静なオフィスエリアの中にある、ランドマーク的な存在のビルとなっている。1988(昭和63)年に竣工された同ビルは、関電不動産開発が2020(令和2)年に取得。水まわりは竣工時のままであったことから、安心・快適な空間を提供し、入居企業の満足度を向上させるため、直ちに改修を計画。2021(令和3)年2月に工事完了した。改修にあたり、全入居企業へのアンケートを行うなど、利用者目線の配慮が行き届き、先進的で入居企業にとってもメリットの多い改修となっている。

トイレの特長

トイレは、“非接触”を重要なテーマとし、自動水栓や自動水石けん供給栓のほか、トイレの入口も扉のないドアレス仕様に変更している。さらに、基準階では、扉のない仕様にするために、入口横にサインを兼用する袖壁を設け、廊下からの視線に配慮するなどの工夫が施されている。袖壁は通行の妨げにならずかつ効果的な仕様が検討された。内装は、男女トイレのデザインを統一し、自然素材と温かみある木目柄で落ち着いた空間を演出。またサインについても無彩色ビクトサインのみとして、性的マイノリティへも配慮している。「心が豊かになるオフィスのトイレ時間へ」をコンセプトに、意匠性・使い勝手・多様性への配慮など、多様な観点からトータルにデザインされたトイレに生まれ変わった。



基準階 男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。



基準階 給湯室

スペースを有効活用。シンクを使う人とゴミを捨てて来た人の動線が重複しないよう、給湯室内のレイアウトにも配慮している。



地下1階
リフレッシュルーム

入居企業の従業員が自由に使うことのできる、リフレッシュルームを完備。大型スクリーンを備え、セミナーなどにも利用できるほか、事前申請により貸し切り使用も可能となっている。

建築概要

名称	関電不動産西本町ビル
所在地	大阪府大阪市西区阿波座1-3-15
施主	関電不動産開発株式会社
設計	株式会社乃村工務社
施工	株式会社ノムラプロダクツ
運営管理・貸主	株式会社第一ビルディング
竣工年月	(改修)2021年2月
敷地面積	1,975.59㎡
延床面積	16,884.78㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下1階、地上11階、塔屋2階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497BPC
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF553*系
自動洗浄小便器:UFS900R/洗面器:L505
台付自動水栓:TENA41A/自動水石けん供給栓:TLK02001J
小型電気温水器:REW12B2D1K/クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W